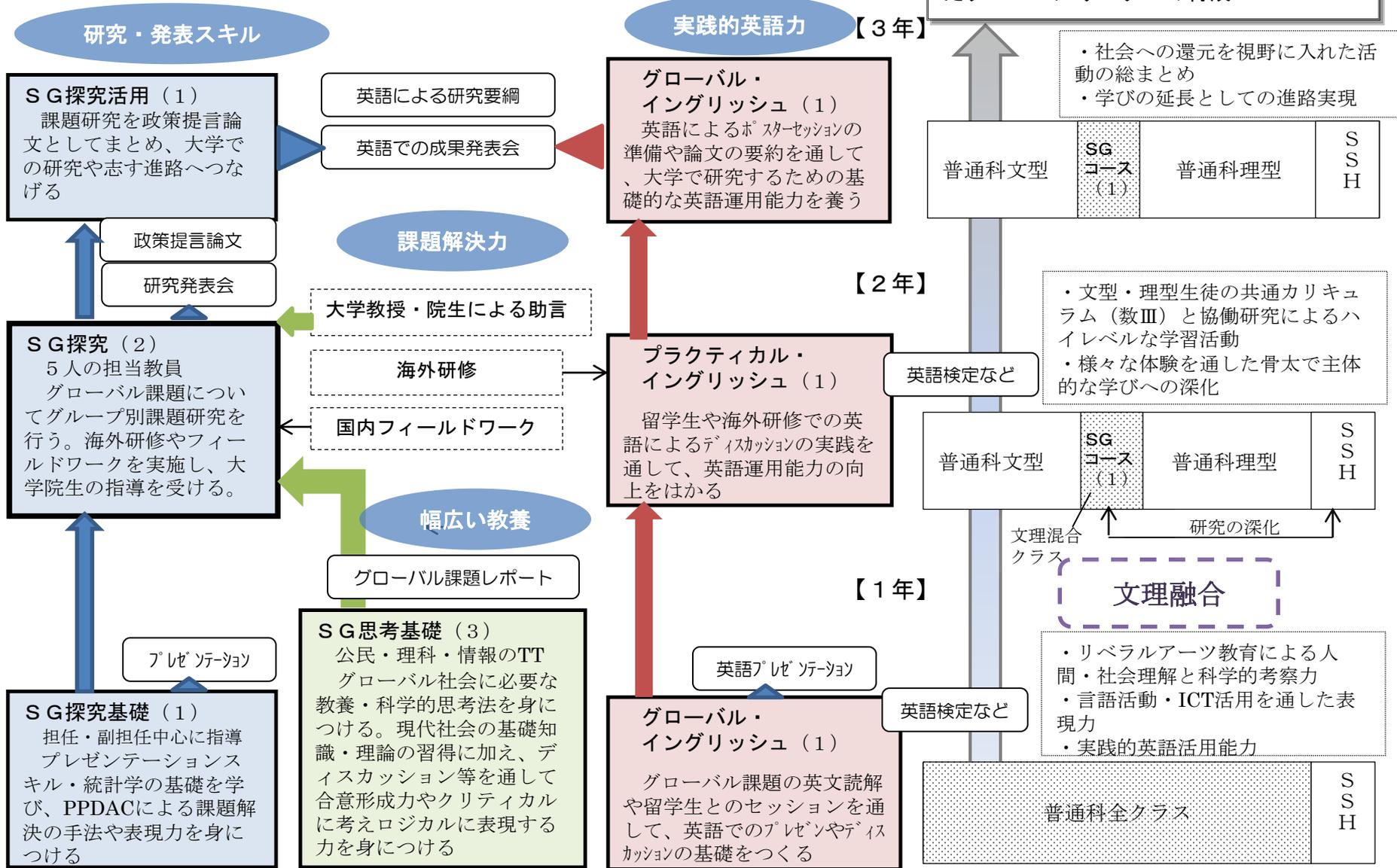


石川県立金沢泉丘高校SGHの カリキュラム開発

2018. 6. 29
SGH連絡会事例発表

金沢泉丘高校 S G Hカリキュラムの構造



学校設定科目「SG思考基礎」

現代社会の授業(2)＋演習(1)

公民・理科・情報によるチームティーチング

(内容) **現代社会の基礎知識・理論**の習得だけではなく、**社会問題**に対して**科学的・批判的に思考し、論理的に表現**する力を養成



遺伝子組み換え食品について全く知らなかったの、知ることができて良かった。遺伝子組み換え食品については**絶対反対だ**と思ったけど、**賛成側の発表を聞いて新たな発見**があって物事は**多面的に考えるべきだ**と思った。

学校設定科目「SG思考基礎」

1年間の主な内容

1学期

科学的に考えるとは

情報リテラシー「原発再稼働の新聞報道を比較する」

数値リテラシー「数値の扱い方や有効数字」

【実験】「葉の細胞観察」→【PC活用】データ処理→考察

2学期

環境・エネルギー問題

【演習】「環境・エネルギー問題を論ずる」

5人1グループで4つの環境・エネルギー問題に対して賛否のプレゼン

3学期

豊かさとコミュニティ

【演習】「豊かさとコミュニティを考察する」

4人1グループで10のSDGsとその関係あるグローバル課題、問題解決に利用できそうな科学技術についてまとめ、ポスターセッション

協働で探究的手法を用いて、現代社会の諸課題について学び、表現する活動

課題研究のカリキュラム

3年間のデザイン

【1年】

【2年SGコース】

【3年SGコース】

SG探究基礎

プレゼン基礎・統計入門
↓
ローカル課題の研究
〔課題発見〕

SG探究

グローバル課題の研究
〔課題発見・解決方法の提言〕

SG探究活用

グローバル課題の研究
〔英語による発信〕

【2年普通コース文型】 【3年普通コース文型】

NS探究 α

ローカル課題の研究
〔課題解決方法の提言〕

NS探究 β

社会課題の多面的考察
〔論理的表現力を磨く〕

課題研究のカリキュラム

1年次では《課題研究の基礎づくり》

スキル開発プログラムの連動と
多くのリサーチ・発表の機会

SG探究基礎

SG思考基礎

プレゼン基礎(簡単なプレゼンを企画・実施)

商品を使った口頭発表

プレゼン活用(学部学科調べをコンテンツに
伝え方を学ぶ)

紙ベースでの発表

紙ベースでの口頭発表

課題研究(プレゼン活用Ⅱ)

統計学のPPDACの手法を活用
ふるさといしかわの課題発見
データの収集

プレゼンソフト(Power Point)を活用
クラスをシャッフルして校内発表

プレゼンソフトでの口頭発表

グループでの演習・ディスカッション

「情報リテラシー」「数値リテラシー」

実験・計測

情報リサーチのリテラシー

計測データの処理

【PC実技】Excel

レポート作成

【PC実技】Word

「環境・エネルギー問題を論じる」

4つの命題に関して賛否の立場
からプレゼン(紙ベースでの発表)

紙ベースの口頭発表

【PC実技】Power Point

「豊かさとコミュニティを考察する」

SDGsを切り口にグローバル課題と科学
技術についてポスター発表

ポスターセッション

課題研究のカリキュラム

2年次では《探究的学習の実践》

SG探究

2年SGコース 文理融合を生かした課題研究

(文型・理型ほぼ半数ずつ)

さまざまな良質な刺激

国内フィールドワーク・国連大訪問

海外研修

グループ別課題研究

大学教授・院生による指導

テーマ:「人間の活動と生態系の調和

～いしかわの自然・文化・社会から見るグローバル課題の考察」

環境・エネルギー

豊かさとコミュニティ

課題研究のカリキュラム

SG探究

さまざまな価値観の中での協働

・グローバル課題について、**グループ別課題研究**

地に足の着いた実証的研究 (4～5名のグループ、文理混合)

・研究を深めるために、**フィールドワーク等体験**を重視

・大学教授や大学院生などから**専門的な指導・助言**を受ける

ハイレベルな「研究者」との出会い

・英語を含む**発表や議論の機会**を設ける

“失敗”“成功”の経験



課題研究のカリキュラム

3年次では《研究成果の発信》

SG探究活用

3年SGコース

- ・地に足の着いた研究(グローバル)を再度**グローバル**課題として**意識・再構築**
- ・研究成果を**英語**で発信
- ・将来のキャリア形成につなげる

世界を意識する、志を育む

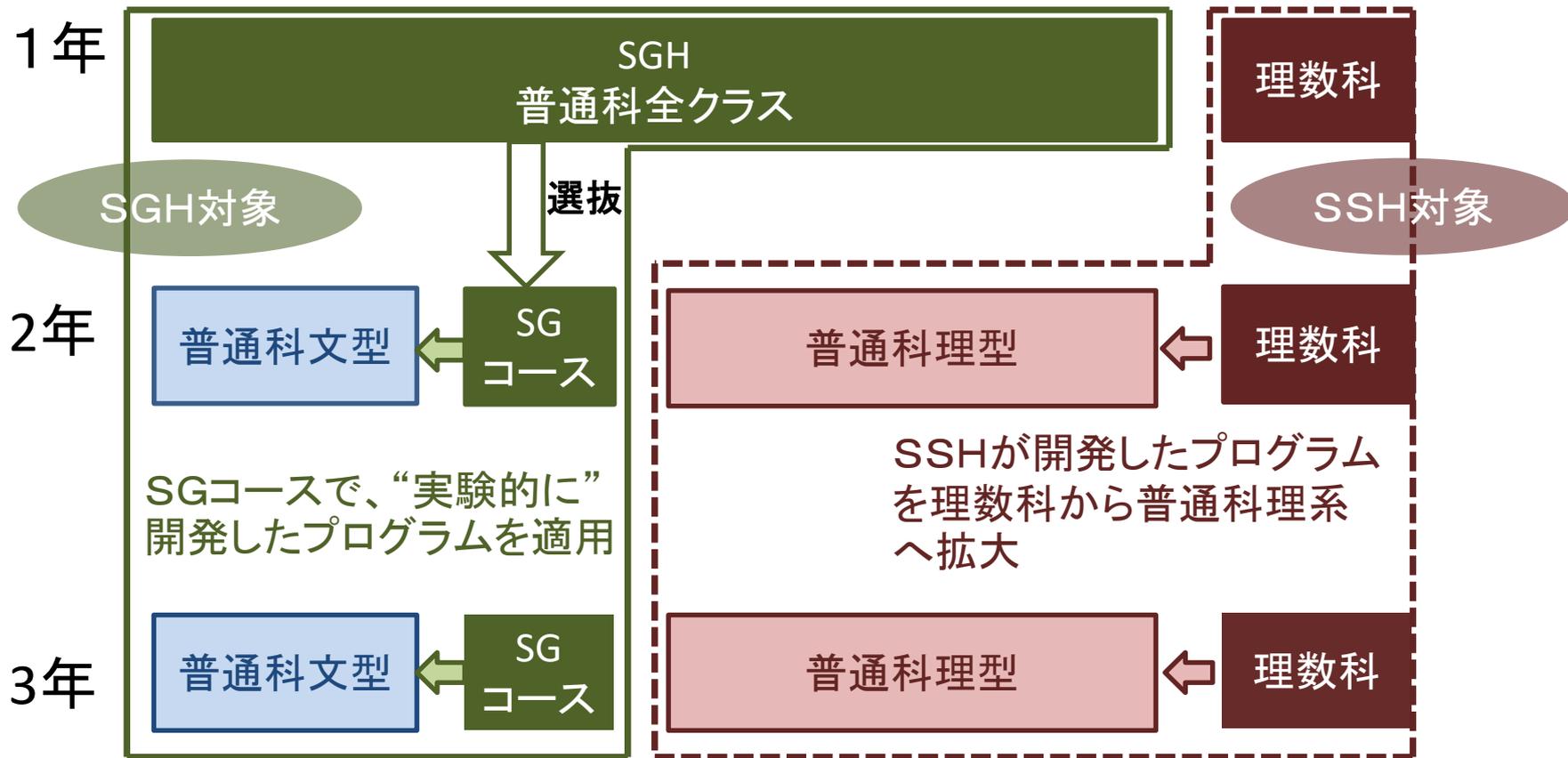
大学での研究の準備



普通コース・SSHとの関係

金沢泉丘高校には2つの“実験場”

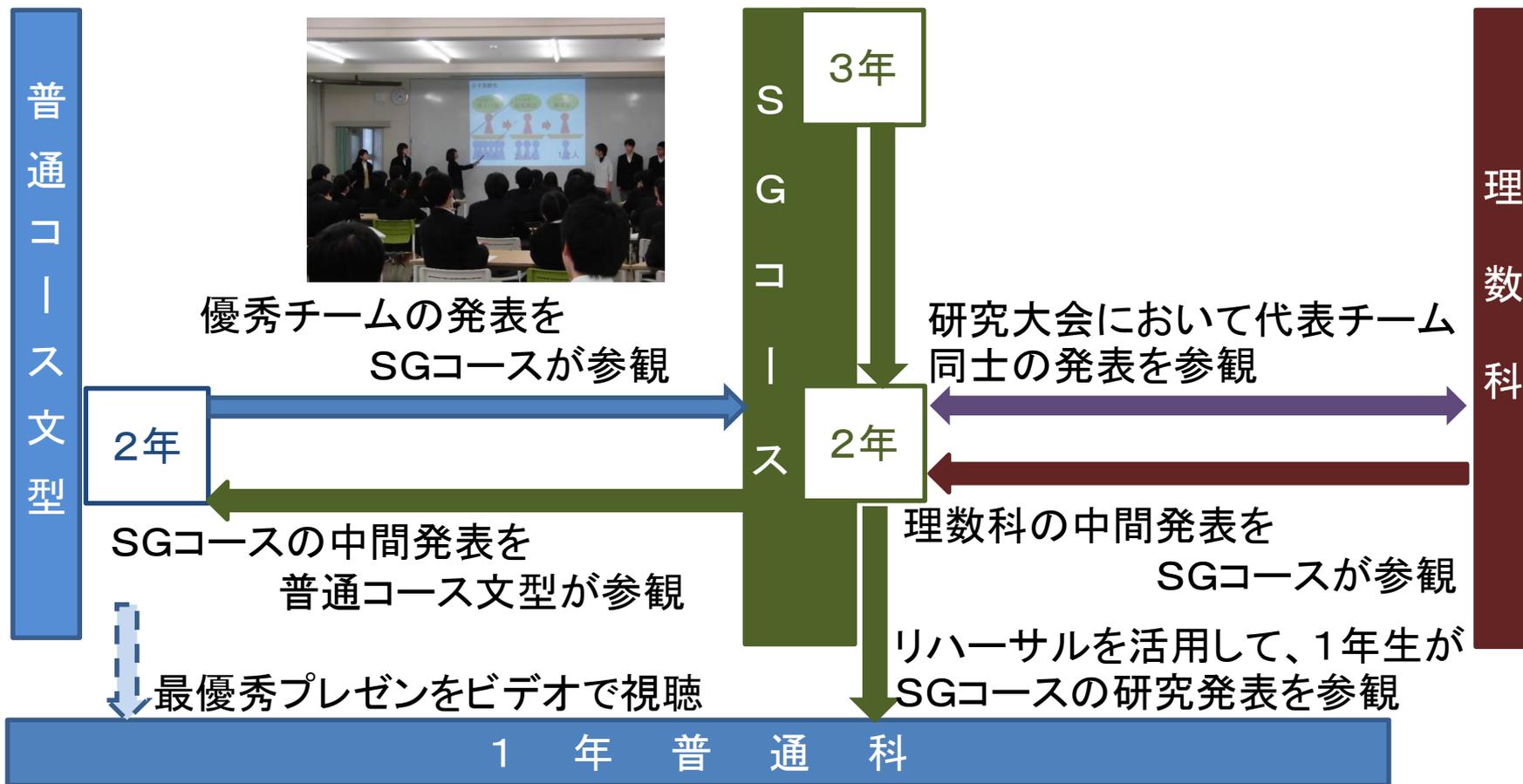
全員に対して課題研究に向けた基盤づくり



SSHが先行的に開発してきた研究手法を参考にSGHのプログラム作成

普通コース・SSHとの関係

互いの課題研究を共有することで生徒同士で刺激
（“持続可能な”学び＝学校としての「財産」）



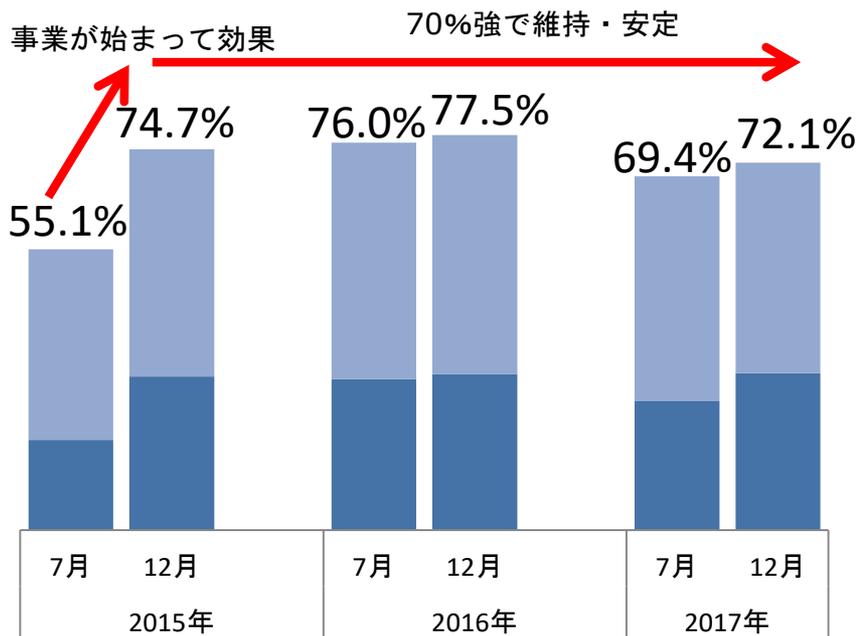
研究開発の成果と課題

成果1 社会とのつながりが学びの意欲を高める

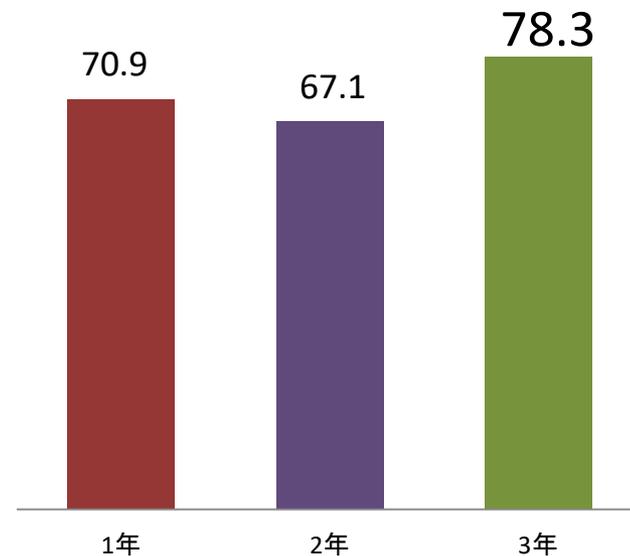
社会問題への関心が高まる＝主権者教育としての機能

社会問題への関心
(3年間の推移: 全学年)

■とても高い ■高い



社会問題への関心
(2017年12月)



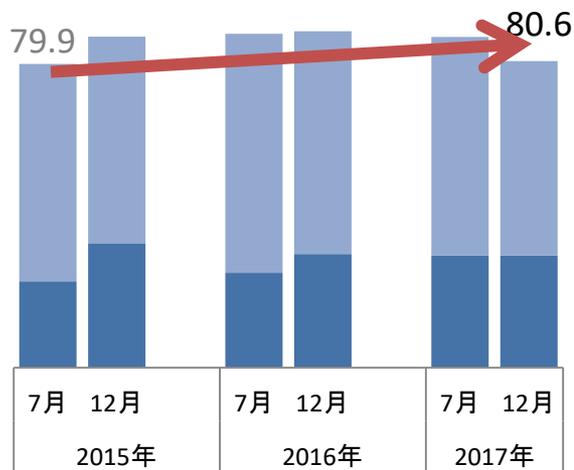
研究開発の成果と課題

成果2 新たな学力の意識化・可視化

探究的学習を通じた探究スキルの向上

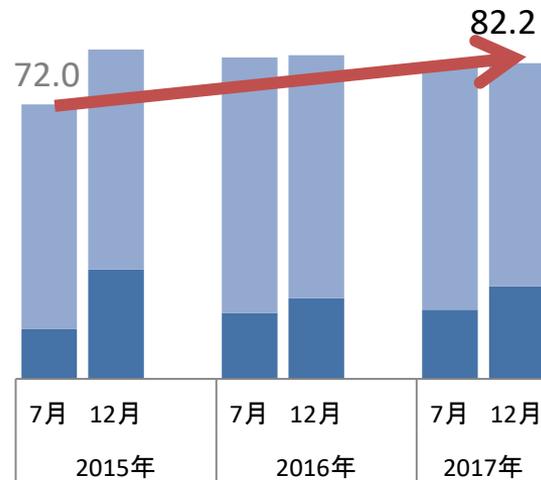
探究活動で協働
(3年間の推移:全学年)

■とてもできる ■できる



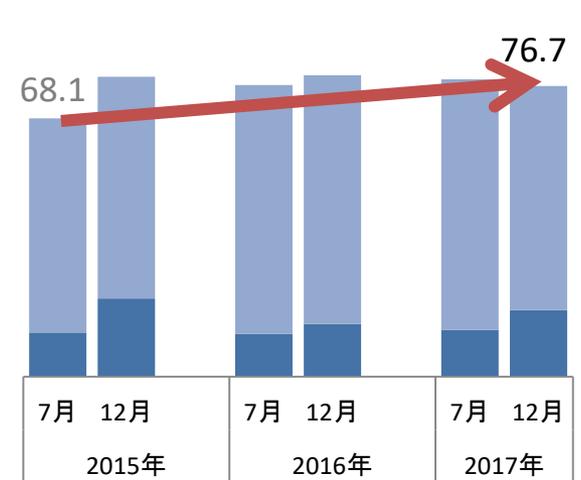
課題発見力
(3年間の推移:全学年)

■とてもできる ■できる



客観的な根拠に基づく結論
(3年間の推移:全学年)

■とてもできる ■できる



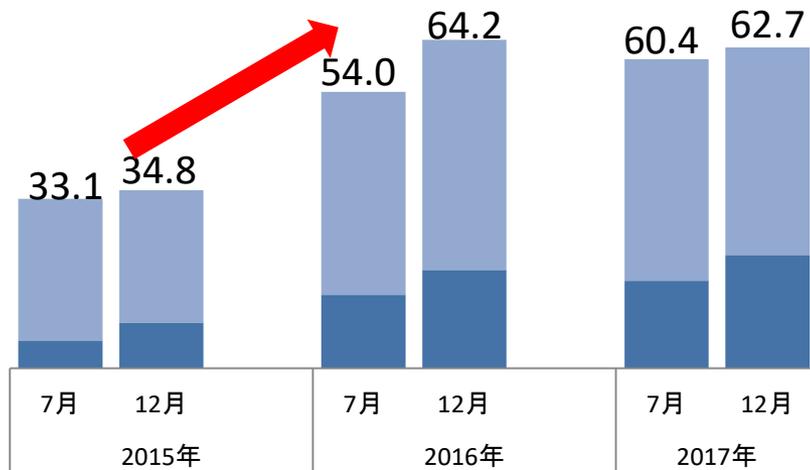
研究開発の成果と課題

成果3 壁を超える・天井を取り除く

生徒の「主体的行動力」の飛躍的向上

外部機関に連絡交渉
(3年間の推移:全学年)

■とともできる ■できる



金沢大学学長へ提案に行く生徒も..

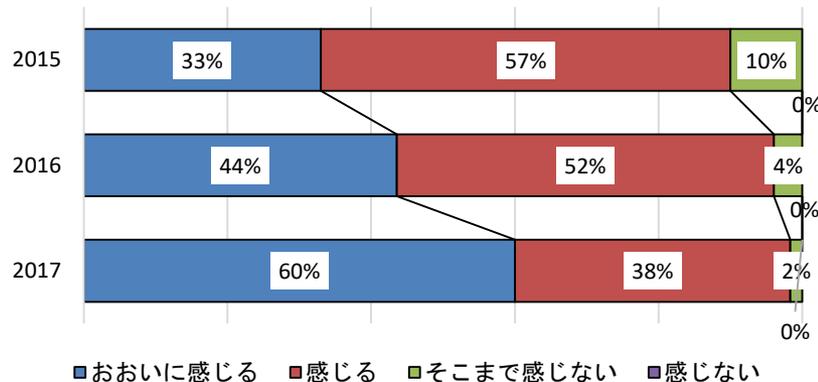


研究開発の成果と課題

成果3 壁を超える・天井を取り除く

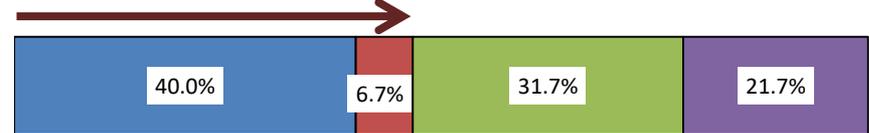
教員同士の協働とベクトル合わせ(TT、プロジェクトチーム)

グローバル教育の意義・必要性 (教員)



SGH事業への関わり方(2017年教員)

実際に関わった



探究的な学習に積極的に挑戦

- 授業・企画開発に携わり、意欲的に取り組んだ
- 授業・企画開発に携わったが、前向きではなかった
- 機会は無かったが、理念に基づく取組に挑戦している
- 機会がないため、取組の意識もない



- ・「SG思考基礎」「SG探究基礎」での
ティームティーチング
- ・SGHプロジェクトチームによる議論・研究
(→教育改革研究PTへ)

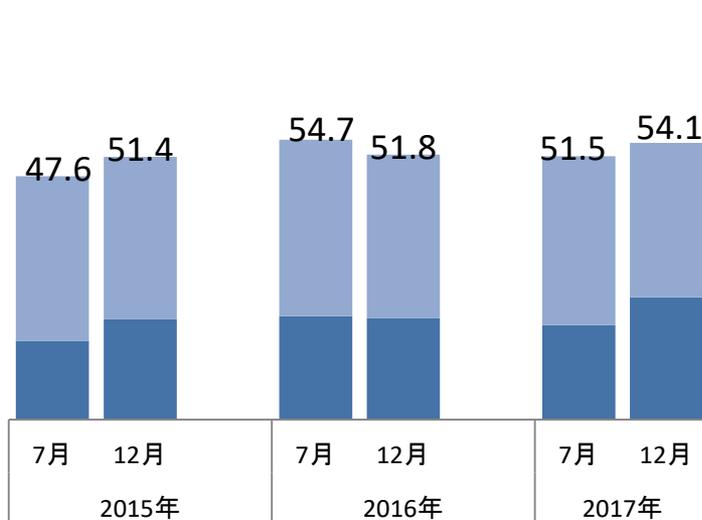
研究開発の成果と課題

課題1 伸び悩む海外への志向性

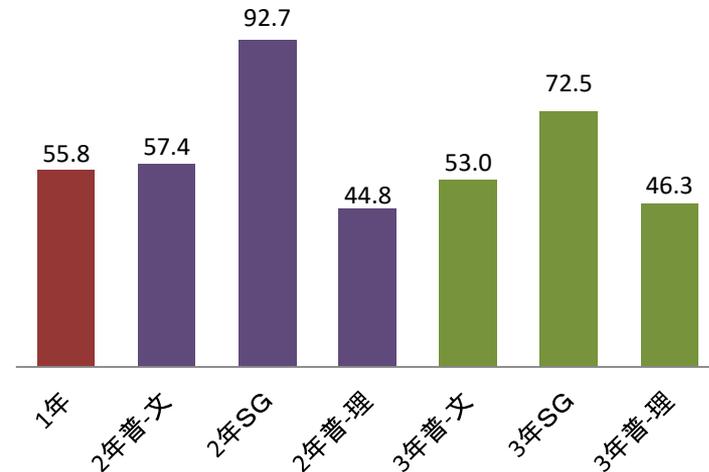
まだまだ低い海外留学・進学 of 意欲、将来のビジョン

将来国際的に活躍したい
(3年間の推移: 全学年)

■とても思う ■思う



将来国際的に活躍したい
(2017年12月)



研究開発の成果と課題

課題2 “特別な取組”からの脱却

“持続可能な”指導体制の構築

- ・「探究的な学び」を全教員が指導できるように
（指導の手引き作成、担当者の広がり）
- ・「探究的な学び」で一般教科の授業も変える
（授業・試験問題の改善）
- ・教育改革へしなやかに対応できる組織作り
（教育改革研究PTの継続・発展）
- ・予算・環境の制約を克服する工夫

SGHの研究開発を通して

私たち教員にとっても「**課題研究**」

これから新たに必要となる力は

学校・生徒の現状から【課題を発見する力】

問題を克服するための【課題解決力】

教員間や外部との【協働の力や交渉力】

成果を検証する【分析力】

取組成果を【発信する力】

そして、何よりも

【失敗を恐れず、変化に立ち向かう力】